

新日本语 能力考试 备考宝典

实战
八周

N1 语法

审订 修 刚
主编 王健宜
编者 迟晶语 黄 静



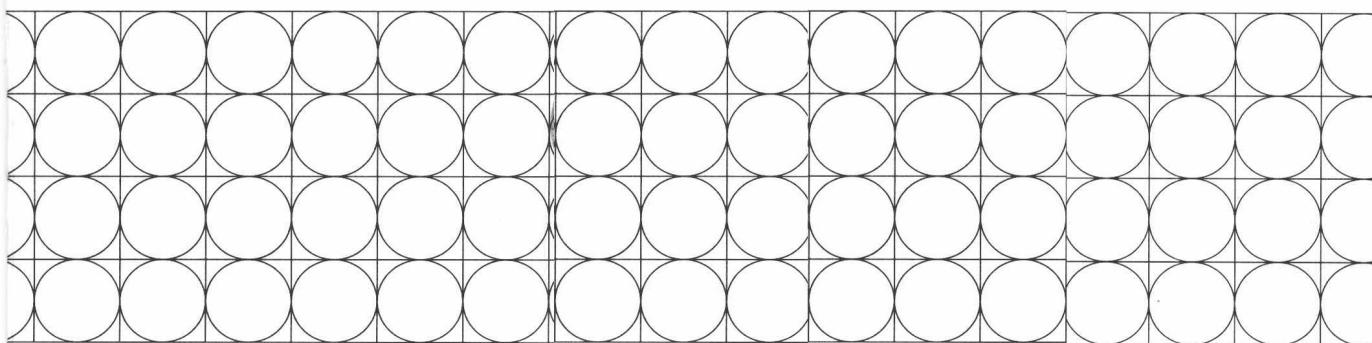
高等教育出版社
HIGHER EDUCATION PRESS

新日本语 能力考试 备战宝典

实战
八周

N1 语法

审订 修 刚
主编 王健宣
编者 迟晶语 黄 静



图书在版编目 (CIP) 数据

新日本语能力考试备考宝典· N1 语法/王健宜主编
编. —北京: 高等教育出版社, 2010. 10
ISBN 978 - 7 - 04 - 031060 - 3

I . ①新… II . ①王… III . ①日语 - 语法 - 水平考试
- 自学参考资料 IV . ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 187413 号

策划编辑 李 炎 责任编辑 李 炎 封面设计 王凌波
责任校对 李 扬 责任印制 张泽业

出版发行	高等教育出版社	购书热线	010 - 58581118
社 址	北京市西城区德外大街 4 号	咨询电话	400 - 810 - 0598
邮政编码	100120	网 址	http://www.hep.edu.cn http://www.hep.com.cn
经 销	蓝色畅想图书发行有限公司	网上订购	http://www.landraco.com
印 刷	北京地质印刷厂		http://www.landraco.com.cn
		畅想教育	http://www.widedu.com
开 本	787 × 1092 1/16	版 次	2010 年 10 月第 1 版
印 张	17.25	印 次	2010 年 10 月第 1 次印刷
字 数	416 000	定 价	43.00 元 (含光盘)

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号 31060 - 00

新日本语能力考试备考宝典

审 订 修 刚
总 策 划 王健宜 焦雨石
主 编 王健宜
编 者 迟晶语 梁 敏 陈 健
张红兵 黄 静 龚 娜

本书编写出版得到天津翻译专修学院鼎力支持
特此感谢

序

新日本语N考刚刚诞生，相关复习、应考书籍在市场极为紧缺，尤其是真题以外的模拟练习，对新日本语N考的冲刺将起到至关重要的作用。为此，从2009年7月开始，在南开大学王健宜教授的主持下，南开大学与天津翻译专修学院组织日语应考辅导的骨干专家，花了大量时间进行题型细分、考试趋势分析、资料收集筛选、难度评估讨论等一系列繁重的工作，然后正式着手进行分项目编写。凭借雄厚的教学、教研实力，“新日本语能力考试备考宝典”系列丛书终于和广大考生见面了。

“新日本语能力考试备考宝典”系列丛书涵盖了新日本语N考的全部考点，较好地填补了目前国内新日本语N考教材的空白。相信每一道练习题都贴近新日本语N考的趋势，在仿真度上与真题接轨。考生可根据书中习题妥善安排复习进度，大大扩充练习量，掌握答题节奏，提高应试技能，在考前做到胸有成竹。“新日本语能力考试备考宝典”系列丛书将起到巨大的助考作用。

特别需要强调的是：任何一种考试都不是以掌握考试技巧、获取高分作为最终目标。尽管我们曾帮助无数考生获得了高分和证书，但在教学过程中，我们始终坚持向考生传授尽可能多的知识点，为考生设计尽可能丰富的训练，以培养考生扎实的语言基本功、过硬的日语学习能力。新日本语N考的培训是无数考生走出日语学习的平原登攀高峰的重要过程，我们期待着考生在挑战新日本语N考成功的同时，能够将日语作为一种熟练应用的工具，进一步积累专业知识、业务技能，最终成长为我国高速发展所需的科技人才、商务精英。

天津翻译专修学院是一所成立不满七年的年轻的培训机构，从初创不足20位在校生发展到今天近4000位莘莘学子济济一堂，考生在学业上收获的丰硕果实已是最好的证明。

最后，对编写本套丛书的主编王健宜教授、编写组成员迟晶语副教授、梁敏、陈健、张红兵、黄静、龚娜等诸老师表示衷心的感谢！感谢你们的辛勤劳动，你们精益求精的态度已保证了这套丛书在同类书中的出类拔萃、与众不同。

天津翻译专修学院院长

焦雨石

2010年6月2日



前　　言

1984年，日本语能力考试开考，当年全世界仅有7000余人参加。25年后的2009年，考生人数增加至60余万人，考点遍及世界各地。正当此时，历经二十余年历程的日本语能力考试将于2010年7月正式改版。新的日本语能力考试将更加名副其实，取名“N考”，用意是强调“新（あたらしい）”和“能力（のうりょく）”，主要考查考生实际使用语言解决问题的能力。这一改变，不仅反映了时代发展和社会变革的要求，也是语言教育及其相应的测试方法和手段向本源的历史性回归，是日本语能力考试顺应时代潮流，回到语言学习正确轨道的重要举措。此外，这一改变还涉及到千千万万考生的复习、备考，甚至是前途和命运，因此备受广大日语教育工作者及各国考生的广泛关注。

新日本语能力考试为了体现考“能力”，同以往的考试相比做了哪些改变呢？大体可以归纳为：

- ① 能力评价细分化，将过去的四级改为五级；
- ② 增加考试机会，从过去的每年一次改为每年两次；
- ③ 采取分段计分，重点考查应用能力。考试由读解和听解两部分构成。以往的文字词汇语法等部分的考试强调应用能力，新考试的成绩将分段计分，每个部分都要求达到及格水平方可得到合格的评价，以往常见的以“文字词汇”分数弥补听力不足的情况变得不再可能。而每年的评价标准也会根据当年考题的难易程度运用统计的方法进行等值化处理，避免因考题本身的难易偏差带来的考试不公平现象。考题的设计也更多地体现了对于解决问题能力的要求，增加了组句、信息处理等新题型。

考试的重要性不言而喻，而顺利通过考试的“诀窍”却未必人人掌握。常言道：“临阵磨枪，不快也光。”此话道出了临考之前积极准备的重要性和显著效果。何谓“临阵”？对日本语能力考试而言，“临阵”者，考试之前两个月也。八周之后，大考降临。大考在即，岂敢掉以轻心。如何“磨枪”？这是最重要的问题。简言之，摸清敌情，排兵布阵；加紧操练，各个击破。

本书正是这样一套大敌当前的演练教案，是极为接近实际的模考。全套图书由8册构成，按照考试的要求，分为“N1”和“N2”两个级别，各级的四册分别为“语法”、“读解”、“听解”、“词汇文字”。

本书的特点是，每册书都将需要演练的内容科学合理地分解为八周的练习内容，每周皆有主攻目标。如此一来，“战略”明确，“战术”清晰。只要您一丝不苟，认真操练，则必定每练一课，皆有收获；全部练完，信心满满！

衷心期待每位考生都能顺利通过日语能力考试，实现自己心中的美好梦想！

王健宜
2010年5月10日
于南开园



本书编写及使用说明

《新日本语能力考试备考宝典 N1 语法》是针对日本语能力考试改革后的新变化，为促进学生尽快适应新题型、迅速通过语法关而编写的专门教材。

本书由长期从事日语专业教学和日本语能力考试培训教学的一线教师，在潜心研究国际交流基金与日本国际教育支援协会共同编写的《日本語能力試験出題基準（改訂版）》（2006）和《新しい<日本語能力試験>ガイドブック》（2009）的基础上，结合多年从教经验精心编写而成。

■本书结构

全书共分三大部分

1. 学习部分

学习部分按语法专题推进，由27课组成，每课包含5至6条语法，可根据课时安排通过八周的学习掌握语法考点。每条语法的学习分为“接续”“基本含义”“用法说明”“例句”“听写例句”“会话”“句型翻译”“易错点、易混点、相似点分析”等8个步骤。环环相扣，由浅入深，从不同的角度认识每一条语法现象。每一课的最后设“专项语法练习”“N2相关语法回顾”，通过对敏感问题的练习和对相关问题的辨析达到对本课学习内容的巩固和提高。

2. 实战综合演练

本书专设8套实战综合演练。演练内容密切结合新日本语能力考试的最新标准，全面剖析N1语法的各类题型，涵盖新、老题型，重点突出新题型，全方位模拟考题，具有很强的针对性。

3. 语法项目索引与标准答案

■本书特色

本书在编写过程中，始终围绕日本语能力考试改革后的新动向、新思路展开。从形式到内容、从讲解到练习均力求突破以往语法学习的旧模式，着重突出新颖、实用。本书整体结构严谨、构思独特、语法解释重点突出。为引导学生顺利适应日本语能力考试的新变化，在以下几个方面有所突破：

- 根据新N考中听解比例增大的特点，本书将听力训练纳入语法教学。在每一条语法讲解之后结合该条语法的特点专门设立“听写例句”和“会话”。以期最大限度地提高学生的听力水平。
- 针对新N考中增设的句子排列组合，本书设立“句型翻译”。通过句型翻译练习，引导学生熟练掌握日语句子结构，以便顺利应对排列组合类题型。
- 结合新N考中增设的文章文法，本书设立“N2相关语法回顾”。引导学生打破N1、N2语法界限，以期对日语语法树立整体概念，达到融会贯通。
- 本书设立“易错点、易混点、相似点分析”。在教学中避免单向思维，通过从易错、易混、相似等几个方面的正反对比，把每条语法的出题陷阱展示给学生，引导学生多向思维，

达到对学习内容的全面掌握。

5. 本书每课后设立的专项语法练习，以二选一的形式将历年考试中出现的敏感问题、难点问题及学习中容易出现的易错问题包含其中，帮助学生及时理清头绪、纠正错误。

6. 本书包含大量新题型的练习，讲练结合边讲边练，真正做到精讲、多练、点评于一体，使学生通过训练减少失误，牢固掌握N1语法。

■适应对象

日语专业二年级以上的学生，或是具有日本语能力测试二级水平以上的日语学习者均适用本教材。

衷心祝愿广大日语学习者通过本书，突破N1语法学习瓶颈，高效备考，在新N考中取得优异成绩。

编者

2010年8月

目 次

第一週間

◆ 第1課

動作の対象	1
【～に関わる／～に関わらず／～に関わりなく】	
目的	3
【～べく】【～んがために／～んがための】	
手段・媒介	6
【～をもって／～をもってすれば】	

◆ 第2課

起点・終点・限界・範囲	8
【～を皮切りに(して)／～を皮切りとして】【～に至るまで】【～を限りに】【～を潮に】	
【～をもって】【～というところだ／～といったところだ】	

◆ 第3課

時点・場面	16
【～にあって】【にあっても】	
時間的同時性	18
【～が早い】【～や／～や否や】【～なり】【～そばから】【～た弾みに／～た拍子に】	

第二週間

◆ 第4課

時間的前後関係	26
【～てからといふもの／ここ～といふもの】	
付帯・非付帯	28
【～かたわら】【～がてら】【～かたがた】【～ながら／～ながらに／～ながらの】	
【～なしに／～なくして／～なしには～ない】	
【～ことなく／～ことなしに／～ことなくして～ない】	

◆ 第5課

限定	36
【ただ(単に／ひとり)～だけだ／のみだ】【～ならでは】	
【～をおいてほかに～ない／～を除いて(ほかに)～ない】	
非限定	40
【～だけでなく／～のみならず】【～にとどまらず】	

◆第6課

付加	43
【～はおろか／～は言うまでもなく／～は言うに及ばず】【～もさることながら】	
【～と～(と)が相まって】	
比較・最上級	47
【～に(も)まして】	

第三週間

◆第7課

対比	50
【～ないまでも】【～にひきかえ】	
判断の立場	53
【～なりだ／～なりに／～なりの】	

◆第8課

評価の視点	56
【～と(も)なると／～と(も)なれば／～と(も)なっては】【～ともあろう者が】【～たる者】	
【～まじき／～としてあるまじき】	

◆第9課

基準	63
【～に即して／～に即した】【～を踏まえて】【～如し／～如く／～如き】	
無関係・無視・例外	67
【～如何によらず／～如何にかかわらず】【～をものともせずに】【～をよそに】	
【～ならいざ知らず／～ならともかく】【～ならまだしも／～からまだしも】	

第四週間

◆第10課

関連・対応	75
【～如何だ／～如何で／～如何によって】【～如何では／～如何によっては】	

◆第11課

例示	78
【～なり(と)／～なり～なり】【～といい～といい】【～といわづ～といわづ】	
【～であれ／～であれ】【～であろうと／～であろうと】	

◆第12課

強調(1)	84
【～たりとも】【～なりとも】【～といえども】【～だに】【～からある／～からする／～からの】	



◆ 第13課

強調(2)	90
【～にして／～にして～(ら)れない】【～あっての】【～の至りだ】【～限りだ】	
【～極まる／～極まりない／の極みだ】	

第五週間

◆ 第14課

逆接・譲歩	98
【～と言えど(も)】【～とは言え／～とは言っても／～とは言うものの／～とは言いながら】	
【～ながら(も)】【～ところを】【～ものを】【～かと思うと／～かと思いきや】	

◆ 第15課

原因・理由	107
【～ことだから／～こととて／～こともあって】【～とあって】【～ゆえ(に)／～ゆえの】	
【～からこそ／～ばこそ】【～ではあるまいし／～じゃあるまいし】	

◆ 第16課

話題	115
【～ときたら】	
仮定条件・確定条件	116
【～が最後／～たら最後】【～とあれば／～とあっては】	

第六週間

◆ 第17課

逆説仮定条件	121
【～(よ)うが／～(よ)うと(も)／～かろうが／～かろうと(も)】	
【～(よ)うが～まいが／～(よ)うと～まいと】	
 不可能・可能・困難・容易	124
【～(よ)うにも～できない／～に～できない】【～に難くない】	
【～に足る／～に値する】【～にたえる／～にたえない】	

◆ 第18課

傾向・状態(1)	131
【～嫌いがある】【～まみれ】【～ぐるみ】【～ずくめ】【～めく】	

◆ 第19課

傾向・状態(2)	137
【～ぶる】【～ふりをする】【～ぶり／～つぶり】【～びる】	



第七週間

◆第20課

様子(1)	143
【～ともなく／～ともなしに】【～つ～つ】【～んばかりだ／～んばかりに／～んばかりの】	
【～と言わんばかり(に)／～とばかり(に)／～と言わんばかりの】	

◆第21課

様子(2)	148
【～ずじまい】【～まま／～まあの／～まさに～する】【～っ放し】【～たなり】	

◆第22課

経過・結末	155
【～に至って】【～に至っては／～に至ると／に至っても】【～始末だ】	
【～までだ／～までのことだ】	

◆第23課

否定	161
【～には及ばない／～までもない】【～には当たらない】【～ないものでもない】	
心情の強調	165
【～てやまない】【～と言ったらありやしない／と言ったらない】	

第八週間

◆第24課

強制	169
【～ないでは済まない／～ずには済まない／～なしては済まない】	
【～ないではおかない／～ずにはおかない】【～を禁じ得ない】	
【～を余儀なくされる／～を余儀なくさせる】	

◆第25課

説明・勧め・注意・禁止	175
【～べからず／～べからざる】	
主張・断定	176
【～ばそれまでだ／～たらそれまでだ】	
【～でなくてなんだろう／～と言わずしてなんだろう】	

◆第26課

その他(1)	180
【～つける／～こなす／～なれる】【～たて／～たてだ】	
【～かい(が)あって／～かいもなく／～がい】【～きっての】	

◆ 第27課

その他(2)	185
【～に越したことはない】【～にかこつけて／～を口実に(して)】【～にかまけて】	
【～手前】	

◆ 実戦綜合演習

第1回	190
第2回	193
第3回	196
第4回	198
第5回	201
第6回	204
第7回	207
第8回	210

附录

◆ 语法项目索引	214
◆ 参考答案	220

第一週間

第1課

動作の対象

【～に関わる／～に関わらず／に関わりなく】

接続

名詞 + { に関わる
 に関わらず
 に関わりなく

{ ～か～か
 ～かどうか } + に関わらず／に関わりなく

意味 「～に関わる」：～に関係する／～に影響する、～という重大なことに関係する。
影响到……，关系到……重要事项。

「～に関わらず／～に関わりなく」：～に関係なく／～に影響されずに
与……无关，不受……影响。

用法

1. ～に関わる。

2. ～に関わらず／～に関わりなく～する。

例文

- 人の生命にかかわるような重大な問題を軽々しく扱うべきではない。
- 国籍・年齢・性別に関わらず、有能な人材は登用する。
- 会社の業績の良し悪しに関わりなく、最低限の生活ができる賃金は保障してもらいたい。
- 高い品質を守るということはわが社の信用にかかわる大切な問題だ。



聞いてみましょう

- _____。
- _____。
- _____。



会話

田中：最近、日本の救急車は問題になっていますね。

良子：そうですね。この間、隣のおじいさんが心筋梗塞で急に倒れて、慌てて救急車を呼びましたが、受け入れられないと断られて、非常に困っていたんですよ。

田中：それはひどいですね。確かに高齢化の進みで、医療サービスの不足が現状ですが、しかし、国民の命にかかる救急車サービスの充実はどうしても真剣に対応しなければならない急務なんですよ。



訳してみましょう

1. 保护个人隐私是事关人权的重要问题。

2. 医生的工作是事关人命的重要工作。

★ 混同しやすい表現:

晴雨にかかわらず、決行します。

<雨かどうかに関係なく>

注意→表示后者与前者之间没有关系。

雨にもかかわらず、外で遊んでいる。

<雨なのに>

注意→前后是转折关系。

N2関連文法

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. ～について | 关于…… |
| 2. ～に関して／～に関する | 关于……、有关…… |
| 3. ～に対して／～に対する | 对于……、向…… |
| 4. ～に応えて／～に応える | 应……、根据……、响应…… |
| 5. ～をめぐって／～をめぐる | 围绕…… |
| 6. ～向けに／～向けの／～向けだ | 面向…… |



やってみましょう

1. わが社の信用に_____ことだから品質管理を厳しく行うべきだ。
(かかわる／関する)
2. 事故の原因に_____ ただ今調査中です。
(かかわる／関して)

目的**【～べく】**

接続 動詞原形+べく～する
する→するべく／すべく

意味 「～するために、ある目的をもってそうした」という意味。
为了……目的而做……。

用法 ～するべく～した。～するべく～している。

- 例文**
- 彼はマイホームを持つべく、節約に節約を重ねた。
 - 真相を明らかにすべく、調査が行われた。
 - 定年退職後、海外に移住するべく今から準備を進めている。
 - 速やかに解決すべく、いろいろ努力いたしました。

**聞いてみましょう**

- _____。
- _____。
- _____。

**会話**

課長：今回の工事は売上げ目標を達成すべく、採算面の不安はあったが受注した。
のるかそるかの大博打だ。

佐藤：工期の短縮がポイントになると思います。過度の利益は期待すべくもないですが。

鈴木：しくじったら目も当てられませんが、一か八か、やってみましょう。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」です。

**訳してみましょう**

- 为了把社长的位子弄到手，他使用了肮脏的手段。

_____。

- 为了消除彼此的误解，进行了沟通。

★ 間違いやすい表現:

アメリカからのお客さんを迎えるべく、空港まで行ってください。

試合に勝つべく猛練習しなければならない。

* 後ろの文には依頼や命令を表す文は来ない。

注意→句尾不可出現請求、命令等語氣。

【～んがために／～んがための】

接続

動詞ない形 + $\begin{cases} \text{んがため(に)} \\ \text{んがためには／も} \\ \text{んがための + 名詞} \end{cases}$

する→せんがため

来る→こんがため

意味 「ぜひ実現させたい積極的な目的をもって、あることをする」という意味。
为了实现……积极的目的而做……。

用法 ～んがため(に)～する。

- 例文**
- 研究を完成させんがため、彼は昼夜寝ずに頑張った。
 - 強くならんがためには、自分より強い相手にぶつかる。
 - 生きんがために食べるのか、食べんがために生きるのか。
 - 私はこの会社を大きくせんがために血の滲むような努力をしてきた。



聞いてみましょう

- _____
- _____。
- _____。



会話

課長：飛び出した子供を避けんがために、とっさにハンドルを左に切って、電柱にぶつかりましてね。

部長：君もついてないな。子供を避け損ねた上に、電柱じゃあねえ。そこは道が急に狭くなっているしな。